

「特殊健康診断間隔緩和導入が健康管理の質と健診実施の適正化に与える影響に関する研究」について

このたび、令和 4 年度から令和 7 年度までの職員定期健康診断と同時に実施した特殊健康診断（有機溶剤健康診断および特定化学物質健康診断）で得られた集計データを用いて「特殊健康診断間隔緩和導入が健康管理の質と健診実施の適正化に与える影響に関する研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、筑波大学における特殊健康診断の実施体制整備および健診間隔の緩和導入の前後において、健診対象者数や検査実施状況がどのように変化したかを明らかにすることを目的としています。これにより、より適切で効率的な健康管理体制の構築に役立てたいと考えています。

■ 研究の方法

本研究では、過去に作成された特殊健康診断の年次報告データ（各年度の対象者数や検査件数などの集計情報）を用いて分析を行います。新たに検査や調査をお願いすることはありません。

■ 研究に用いる情報

本研究では、以下のような情報を使用します。

- ・特殊健康診断の対象者数
- ・各種検査の実施件数（尿検査、血液検査、肝機能検査など）

※いずれも個人ごとの情報ではなく、集計されたデータのみを使用します。

■ 個人情報の取り扱い

本研究で使用するデータには、氏名や生年月日などの個人を特定できる情報は含まれていません。また、研究者が個人情報にアクセスすることはありません。そのため、個人が特定されることはありません。

■ 研究への参加について

本研究は、既に作成された集計データのみを用いて実施するため、対象となる方に新たなご負担や不利益が生じることはありません。

■ 研究期間

倫理審査委員会承認後から 2026 年 8 月 31 日までを予定しています。

■ 研究成果の公表

本研究の成果は、学会発表等により公表される予定です。

■ 研究責任者：

筑波大学医学医療系臨床医学域 保健管理センター・腎臓内科学 准教授 間瀬かおり（保健管理センター副所長）

■研究分担者：

筑波大学医学医療系臨床医学域 保健管理センター・循環器内科学 准教授 村越伸行

筑波大学医学医療系臨床医学域 保健管理センター・呼吸器内科学 講師 谷田貝洋平

筑波大学保健管理センター 保健師 岩田麻里

■情報管理担当

筑波大学保健管理センター 保健師 岩田麻里

■お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記までご連絡ください。

(所属) 筑波大学医学医療系臨床医学域 保健管理センター・腎臓内科学 准教授

(研究責任者) 間瀬かおり

(連絡先) 保健管理センター総合受付 029-853-2410

(電子メール) kaorimase@md.tsukuba.ac.jp